

のうね Nouné+ PLUS

春号 人と地域をつなぐ情報誌

CONTENTS

- ❁ 特集一春爛漫!さくらの風景が広がる長畝… P.2~3
- ❁ トピックス… P.4~5
- ❁ 歴史の場所を歩く⑬… P.7

表紙の写真は、昨年の春見頃を迎えた女形谷にある桜です。長畝地区には他にも桜の名所が多々あります。詳しくは特集 P2 へ…



坂井市防災士の会
副会長
阿津川保夫氏

昨年10月22日(土)、小黒区で防災講習会が行われ、約30名が参加しました。内容は、熊本地震から学ぶ普段の準備について、実際に非常持ち出し袋の中に入れておくのと良いものをみせてもらったりと、とても勉強になった講習会でした。

平成29年度 長畝地区区長会役員

会 長	倉本 喜久治 (与河区)
第1ブロック長	東 信一 (玄女区)
第2ブロック長	高桑 清則 (上長畝区)
第3ブロック長	林 融 (城北3区)
第4ブロック長	倉本 喜久治 (与河区)
第5ブロック長	森田 博 (東陽区)

更なる長畝地区発展のため
一年間よろしくお願いいたします。

編集後記

▼昨年はイギリスがユーロ離脱、今年に入ってアメリカではトランプ大統領誕生。世界の国々が自国第一主義を打ち出すようになってきていますね。自分が大事は当然ですが、みんなの幸せのためにはちよつとの我慢も必要ですね。長畝地区も「長畝ファースト」で「長畝が一番」とプライドを持ちながら他者も受け入れ仲良くやっていきたいですね。(M)

のうねの郷づくり推進協議会
研修会・総会のお知らせ

日時：4月16日(日)
18時30分より

場所：のうねの郷
コミュニティセンター

これからの予定

- 3月28日(火)
広域避難所開設運営マニュアル(1次避難所)検討会
- 4月2日(日)
のうねの郷ふるさとウォーキング
- 4月8日・22日(土)
囲碁教室(三世代交流事業)
毎月第2・第4土曜日10時~
- 5月28日(日)
第19回のうね健康まつり



▲「とちちらかる」は誉め言葉。とにかく何にでもチャレンジ...

文芸・美術・手話・ボランティア・登山： のうねの郷の多芸家、辻川定男さんの日々

「私はペンキ区長ですよ」と辻川さんは苦笑いしながら話す。小黒区の区長を務めた昨年はかつて看板屋だった特技を生かし、区内の古くなった看板の補修、塗装に取り組んだ。集会所の屋根の塗装や交通安全看板の書きかえなど、その数20か所にも及ぶ。公園のブランコ支柱は青空色に塗りがえられた。

ペンキ区長は一年で終わった。これからは趣味の文芸に力を入れていこうと思っている。ジャンルを決めず、何にでも挑戦する。それを各種公募に応募し、入賞すること30数回。県内の賞でも一筆啓上賞(短文・坂井市)、平成独楽吟(短歌・福井市)、愛の川柳(川柳・鯖江市)、県文学コンクール(小説・福井県)、星にまつわる詩のコンクール(詩・越前市)などで入賞を重ねてきた。区長の任が終った今年、それらを再開しようと意気込んでいる。目標はやはり芥川賞だ。

辻川さんはさらに美術の活動にも力を入れている。造形やイラスト、マークデザインなどを手掛ける。手話通訳者の全国組織のマークは辻川さんがデザインしたものだそう。その手話の活動は30年にも及ぶ、手話通訳や小中学校での手話指導などに取り組んできたという。今は手話の活動はお休みしていて、代わりにユニセフ募金などのボランティア活動に力を入れているそうだ。

マラソン(古城マラソンなどに参加)登山(中央アルプス全山縦走、御在所岳藤内壁厳冬期単独登攀)太陽系研究家(オーロラの雲の研究)居家道初段、などなどいくつもの顔を持つ辻川さんから目が離せない。

春爛漫！

さくらの風景が広がる長畝

長畝地区には地元住民に愛され大切にされてきた桜の木がたくさんあります。春になると新緑の中で咲く淡いピンク色がその存在を教えてください。今回は昨春、じょうほう部会員が写真に収めた桜の名所を紹介します。春の日差しに誘われて、友達や家族とのうねの桜めぐりをしませんか。

おすすめスポット



⑤ 高速をくぐった堤に咲く桜。水面に映るピンク色が緑の木々にはえる。(丸岡町川上)



① 長畝橋堤防 (丸岡町長畝)



② わんかし山 (丸岡町坪江)



③ 横山神社 (丸岡町坪江)

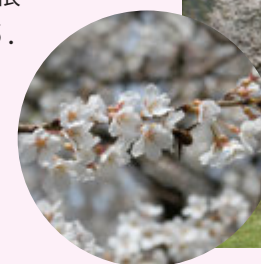


④ 川上～坪江間の道路沿いの桜並木のトンネル。(丸岡町坪江)



⑥ 竹田川上流 (丸岡町川上)

⑦ 女形谷のサクラは福井県内でも有数の淡墨桜(エドヒガンザクラ)、老樹で、根廻り約10m、樹高15.5m。毎年4月上旬には薄桃色のきれいな花で満開になる。県指定の文化財、天然記念物。(丸岡町女形谷)



長畝地区のさくらMAP



⑫ 丸岡高校の北側に咲き誇る。(丸岡町篠岡)



⑪ 味噌山 (丸岡町与河)



⑨ 北陸自動車道上り線 (丸岡町女形谷)



⑧ 株ホクエツ福井敷地内 (丸岡町女形谷)



⑮ 春日神社 (丸岡町小黒)



⑬ 笠間神社 (丸岡町篠岡)



⑭ 五味川沿い (丸岡町田屋)



⑩ 樹齢100年以上のソメイヨシノと大きな門は明治時代から受け継がれている。(丸岡町三本木)

味 冬季限定イルミネーション 岡山に光の演出！

味岡山のイルミネーションも今回で3年目を迎えました。今年の点灯期間は、12月1日（木）から1月31日（火）までの2か月間。昨年よりLED電球を21,000個に増やし、明るさや色彩をスケールアップして、見る楽しみを増やせたのではないかと思います。1日の仕事から帰る時や、遠くから味岡山を眺めた時に少しでも心が和んでくれることを願い、設置場所やデザインに試行錯誤しながら取り組んでいます。来年以降も斬新なアイデアを取り入れながら、幻想的な光に癒される冬の風物詩となる里山を目指していきたいと思います。（文 前田 繁）



毛 のうねわんぱく探偵団 糸のぽんぽんでリース作り

8組の親子が参加した『クリスマスリース作り』が、のうねの郷コミュニティセンターで12月10日（土）に行われました。まず最初に、サンタクロースと雪だるまになる毛糸のぽんぽん作りです。ぽんぽん作りの道具を始めて手にして戸惑っていた参加者も、コツを教わりながら上手に作っていききました。次に、フェルトやシールを使いサンタクロースと雪だるまを仕上げていきます。同じ材料を使っても、毛糸の切り方や目玉シールの貼り方でそれぞれ違った表情になりました。最後にリースにぽんぽん人形を固定し、リボンや松ぼっくりなどで思い思いに飾り付けをして、クリスマスリースが完成しました。（文 小崎 和恵）

け のうねわんぱく探偵団 けん玉名人をめざそう！

あそびのおうさま『けん玉入門講座』が1月28日（土）のうねの郷コミュニティセンターで行われました。講師に与河区在住でおもちゃコンサルタントの南出眞代先生を招き、けん玉のルーツやおもしろい遊び方を教わりました。けん玉の各部位の名称を知る事から始まり、第1種目落としけん（中皿ふち持ち）から第9種目手乗せ大皿ジャンプ3回まで少し難しいけど頑張ればできる基本の種目をクリアしていききました。約1時間でけん玉道“入門級位認定証”を参加者全員が授与されました。「小皿に玉を乗せられるようになった!」「お誕生日に買ってもらおう!」などと子どもたちはすっかりけん玉のとりこになったようでした。（文 小牧 紀子）



▶「つるし持ち」の技に挑戦中



長 長畝地区区長会 畝地区区長会総会開催

長畝地区区長会総会が2月25日（土）大森料亭で開催され、区長29名が出席しました。

平成29年度事業計画案・収支予算案について審議され、満場一致で可決されました。また、のうねの郷づくり推進協議会への参画と地区要望書の提出について話し合わせ、本年度の区長会も本格的に始動しました。総会後には懇親会も行われ、来賓や地区の区長同志の親睦を深め、有意義な総会を終えることができました。



与 のうね郷誌編集委員会 河区歴史座談会

のうね郷誌編集委員会では、これまで毎年集落の歴史を語る座談会を開催してきた。今回は与河区にお願いして、去る2月11日（土）に同区の集会所で開催された。当日は集落の集会所に10人ばかりの人たちが集まって、子供のころの村の様子や神社の祭りやお講の仲間などについて話してもらった。特に与河の村はハヶ盛の中心である。一つの字区の中にいくつもの村の地所が入り組んでいる。全国でも珍しい所有形態を持っている。そのうちでも田屋、畑中、篠岡、与河の4つの集落の農地が入り組んでいる。その実態、水利、農道の維持などの仕組みについていろいろ話題になった。詳しい内容はのうね郷誌第6号に掲載される予定。



区 あんしん・ふくし部会 長ら災害時の対応を学ぶ

災害時に迅速且つ円滑な対応に備えることを目的に、『広域避難所開設運営マニュアル検討会』が2月28日（火）のうねの郷コミュニティセンターで開催されました。NPO法人まちの防災研究会松森和人氏から、過去の地震災害時の様子や、避難所開設時に直面する問題点や良い事例などをスライドを使いわかりやすく説明を受けました。

また、3月28日（火）には一次避難所の開設運営マニュアル検討会が予定され、各集落の実情にそった話し合いが行われることになっています。あつてはならない災害。しかし、いつ起きるかわからない災害に備え、地区住民が防災意識を高めることの大切さを学びます。

手作りから学ぶ コミセン講座

2/5
(日)

達人に学ぶ「そば打ち教室」

毎年2月の第1日曜日に開催される、地元産のそば粉を使ったそば打ち教室に坂井市内の親子や夫婦ら計46名が参加。本格的な道具と家庭にある身近な道具を使った教室の2回を開催しました。



参加者は「毎回新しい発見があり奥が深い」と話す

講師は丸岡蕎麦塾楽打会の渡辺新一郎さんほか3名。

開催：のうねの郷コミュニティセンター

2/8
(水)

福井の冬の風物詩 「和菓子作り 水ようかん」

水分たっぷりでとろけるような柔らかさと甘さの水ようかん作りに地区内の14名が参加し、お菓子の泰鳳堂(有)より水ようかん、いちご大福、こしあんの作り方を教わりました。あずきのゆで方からこしあん作りを実演。出来上がったあんを試食してみると「あずきの味がしっかりしてておいし〜い」と感嘆の声があがっていました。



◀講師のお菓子の泰鳳堂(有) 杉本正廣さん

開催：のうねの郷コミュニティセンター

2/17
(金)

米五のみそスタッフから教わる 「手づくり味噌作り教室」

家族に愛情たっぷりの味噌を作ろうと、手づくり味噌作り教室を開催。講師に米五のみそスタッフの多田和博さんと味噌ソムリエの横濱友梨さんを招き、地元主婦ら8名が参加。日頃から疑問に思っていた事や、11月の出来上がりまでの管理について丁寧にわかりやすく教わりました。



「材料を混ぜ合わせるだけで、手軽に出来て、食べるのが楽しみ!」と話す参加者たち。

開催：のうねの郷第二コミュニティセンター

3/1
(水)

春の節句 「和菓子作り さくらもち」



和菓子作りの第2弾として、桜もちと三色おはぎ作りに14名が参加。桜もちのピンク色には色粉を使うことや、あんの包み方のコツなどを学びました。

開催：のうねの郷コミュニティセンター

3/12
(日)

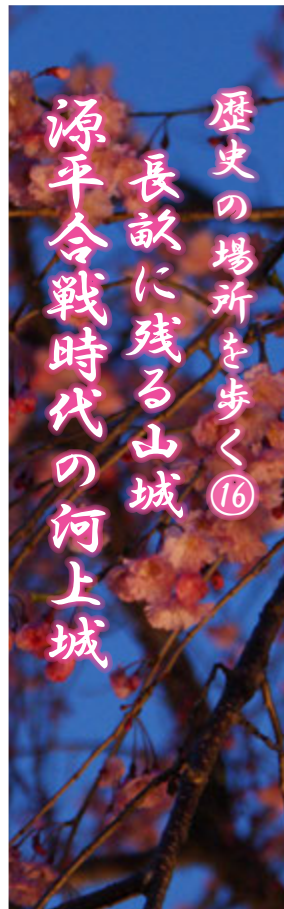
親子で楽しくクッキング 飾り巻き寿司教室

3回目の開催となる飾り巻き寿司講座に親子9組が参加し、ペンギン柄にチャレンジしました。巻き終えた親子が包丁で切ると、かわいい柄の登場に子どもたちも大喜びでした。



◀講師は飾り巻き寿司マスターインストラクターの苧野雅栄先生。

開催：のうねの郷コミュニティセンター



春まだ早い二月、好天氣に誘われて川上集落の裏にある河上城の踏査に出かけた。集落の名前からすると川上城と記すべきかもしれないが、歴史資料に出てくる名前はすべて「河上城」となっているのであえて河上城とする。川上区の白山神社の裏の標高一〇五メートルの小高い山が、河上城である。山の名前は堂山という。城跡ということを知らないと平凡な里山である。以前に村の区長さんに案内してもらって登ったことがあるので、簡単に場所は特定でき



また北側(剣岳方

面)は、断崖になっていた、こちら側からは敵が攻めるわけにはいかないだろう。明らかに砦であったと思わせる地形が今も残っている。南側が開けていて丸岡の街や坂井平野を展望することがができる。戦さになった時は、南側の竹田川沿いにしか侵入できない。守りの砦としては誠に理想的な場所であることが、素人でも理解できる。

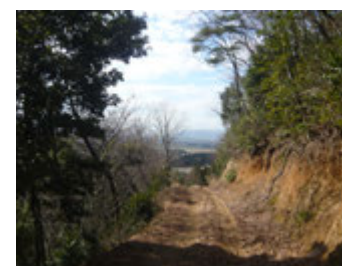
福井県の地名辞典によると、この城は『源平盛衰記』に「寿永二年四月、平泉寺の斎明の裏切りで源氏方の燧城が落ちた後、越前河上城に立ち籠る。平家は斎明を先として河上城へ推寄す。」と書かれている。

これは木曾義仲が兵をあげ、京の都を目指して・北陸路を攻め挙げたときの物語で有名な倶利伽羅峠の戦いを経て、平家軍は石川県片山津の篠原で敗走するのだが、この時はまだ平家軍は優勢であった。



源平盛衰記第28巻には、このあたりのことが次のように書かれている。

「平家軍は一〇万余騎、時を造りて押し寄せたり、源氏軍は斎明が心変わりして、平家についたので、平家についたので、勢いを得て、源氏方は撤退して、越前河上城に立籠る。しばらくは支えて戦うが兵糧が尽きたので退



(文責 水崎亮博)